

R 6 江戸川河川事務所インフラツーリズム広報支援業務 [企画競争入札方式]
企画提案を特定するための基準

評価項目	評価の着目点		評価のウエイト
		判断基準	高度な企画立案を要する業務
配置予定技術者（主たる担当者）の経験及び能力	業務経験	下記の順で評価する。 ①同種業務の実績がある。 ②類似業務の実績がある。 ③業務実績が無い場合は特定しない。	①20.0 ②10.0 ③特定しない
	専任性	配置予定技術者（主たる担当者）の手持ち業務量（本業務を含まず、特定後未契約のものを含む）が5億円以上または10件以上の場合は特定しない。	数値化しない
当該業務の実施体制	業務実施体制の妥当性	下記に該当する場合は特定しない。 ・再委託の内容が主たる部分の場合。 ・業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。	数値化しない
業務実施方針及び手法	業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	8.0
	実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	8.0
	工程表	業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	8.0
	その他	有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	8.0
		なお、業務の目的が理解されておらず、実施フローや工程表の妥当性が著しく劣る場合は特定しない。	数値化しない
特定テーマに対する提案	特定テーマ	的確性 ・必要なキーワード（着眼点、問題点、解決方法等）が記述されている場合に優位に評価する。 ・業務の的確性に著しく欠ける場合は特定しない。	16.0
		実現性 ・提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 ・提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。 ・業務の実現性に著しく欠ける場合は特定しない。	16.0
		独創性 ・これまでの知見に基づく前例のない提案がある場合に優位に評価する。 ・先進的技術の採用提案がある場合に優位に評価する。	16.0
参考見積	業務コストの妥当性	提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は提案内容に対して見積もりが不適切な場合には特定しない。	数値化しない
W・L・B等の推進に関する指標についての適合状況	ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として関係法令（女性活躍推進法、次世代育成支援対策推進法、若者雇用促進法）に基づく認定等の状況	複数の認定等に該当する場合は、最も配点が高い区分により加点を行う。 (1)女性活躍推進法に基づく、えるぼし認定企業 ①プラチナえるぼし ②えるぼし3段階目（※1） ※1 認定基準のうち、「労働 ③えるぼし2段階目（※1） 時間等の働き方」の基準 ④えるぼし1段階目（※1） を満たしていること。 (2)女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画（計画期間が満了していないものに限る。）を策定した企業（常時雇用する労働者の数が100人以下のものに限る。） ⑤行動計画 (3)次世代育成支援対策推進法に基づく、くるみん認定企業、プラチナくるみん認定企業 ⑥プラチナくるみん認定 ⑦くるみん認定（平成29年4月1日以降の基準） ⑧トライくるみん認定 ⑨くるみん認定（平成29年3月31日までの基準） (4)青少年雇用促進法に基づく、ユースエール認定企業 ⑩ユースエール認定	①5.0 ②4.0 ③3.0 ④2.0 ⑤1.0 ⑥5.0 ⑦3.0 ⑧3.0 ⑨2.0 ⑩4.0

- 同種業務：河川事業（ダム事業・砂防事業・海岸事業を含む）に関する広報資料の作成を行った業務
●類似業務：公共事業に関する広報資料の作成を行った業務
■特定テーマ：首都圏外郭放水路のインフラツーリズムをさらに発展させるための効果的な手法を検討するにあたっての留意点について

企画競争方式における特定結果書

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 1. 業務名 | R 6 江戸川河川事務所インフラツーリズム広報支援業務 |
| 2. 所属（事務所）名 | 江戸川河川事務所 |
| 3. 発注方式 | 企画競争方式 |
| 4. 公示日 | 令和6年6月20日（木） |
| 5. 特定通知日 | 令和6年7月24日（水） |

企画提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
株式会社エム・シー・アンド・ピー	○	
東武トップツアーズ株式会社	×	貴社においては、業務実施方針び手法の「業務理解度」「実施手順」「工程表」「その他」及び特定テーマに対する企画提案の「実現性」「独創性」において、他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。

〔標準様式 2（例）〕（役務の提供等の場合）

企画競争評価表

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 1. 業務名 | R 6 江戸川河川事務所インフラツーリズム広報支援業務 |
| 2. 所属（事務所）名 | 江戸川河川事務所 |
| 3. 発注方式 | 企画競争方式 |
| 4. 公示日 | 令和6年6月20日（木） |
| 5. 特定通知日 | 令和6年7月24日（水） |

評価項目	評価の着目点		評価の 配点	1	2
				(株) エム・シー・ アンド・ピー	B社
				配点	配点
当 者 配 及 者 (へ 置 び) 主 予 能 の た 定 力 経 る 技 験 担 術	業務経験	過去 1 0 年間の同種又 は類似業務の業務実績	20	20	20
	専任性	手持ち業務量	適合 or 不適合	適合	適合
当該業務の 実施体制	業務実施体制の妥当性		適合 or 不適合	適合	適合
業 務 実 施 方 針 及 び 手 法 (実 施 方 針 ・ 実 施 フ ロ ー ・ 工 程 表 ・ そ の 他)	業務理解度	目的、条件、内容の理 解	8	4	2.6
	実施手順	実施手順の妥当性	8	4.6	2.6
	工程表	業務量把握の妥当性	8	5.3	2.6
	その他	重要事項の指摘	8	4.6	3.3
特 定 テ ー マ に 対 す る 提 案	特定テーマ	的確性	16	12	16
		実現性	16	13.3	6.6
		独創性	16	10.6	8
参考見積	業務コストの妥当性		適合 or 不適合	適合	適合
W・L・B等の推進に関する指標に ついての適合状況		ワーク・ライフ・バランスを推 進する企業として関係法令に基 づく認定等の状況	5	0	5
計			105	74.4	66.7